

Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。

消火栓 目立つよう改善を

石井 めぐみ 議員

問 市内の消火栓、防火水槽などの消防水利施設の現状は。

答 消防長 私設、公設合わせて1600基あり、点検等適切な維持管理に努めている。また、市全体で約10%の未整備地区があり、そこを中心に整備を進めていく。

問 点検期間と方法は。

答 消防本部警防課長 年に2回、春と秋に実施しており、期間は1カ月から1カ月半かかる。点検方法は調査項目を隊員の目視等で行っている。

問 水利調査結果表には約300カ所が標識なしと書いてある。対応しているか。

答 標識を設置する余地がない箇所が多い。視認性の高い樹脂テープを用いるなど、改良、改善をしている。

問 標識がないため、駐車され、消火活動が遅れたことがあるようだが、周辺住民へ周知するべきでは。

答 今後、可能な限り標識やペイント等で認知度アップに努めたい。



消火栓



災害伝言ダイヤルイメージ図 (NTT 東日本ホームページより <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171s/goriyou.html>)

災害用伝言ダイヤル 有事に備え周知を

齊藤 久代 議員

問 毎月1日と15日などに災害用伝言ダイヤル171が体験できる。広報や市のホームページ、メールマガジン等に啓発の記事を連続して載せるなど、市民の防災意識を高めるために取り組んでもらいたい。

答 総務部長 メールマガジン等で体験できる日をお知らせするなど、できるところから取り入れていく。

問 早速、始めるか。

答 安全安心対策課長 まずは安全安心対策課のメールマガジンでお知らせする。

進めよ！ 取手駅周辺の地域振興

吉田 宏 議員

問 取手駅西口の開発は交通広場の整備などを控え、最も重要な部分だが、現在の進展状況と展望は。

答 市長 これまで人口減少社会に対応して、健康、医療、福祉、環境を基軸にした町づくりに着手し、ウェルネスプラザの整備など、一定の成果が生まれつつある。今後は、県内外から定住者を呼び込むため、区画整理事業の早期完成に取り組みしていく。

問 都市整備部長 区画整理事業による基盤整備と建築物整備が一体となり、取手らしさが創出される駅前になるよう、平成34年度の完成を目指す。

問 東西自由通路整備の必要性をどう考えるか。



取手駅西口ロータリー

答 東口利用者のバリアフリー化や歩行回遊環境の向上など、東西市街地の活性化には必要な都市機能だと考える。

問 整備時期は。

答 区画整理事業の方向性が見えた段階でJRと協議し、整備時期を見定めたい。

LGBTへの理解

染谷 和博 議員

問 LGBT(性的少数者)に理解を深めるための市の取り組みを伺う。

答 総務部長 男女共同参画計画で新たな項目として追加し、審議会で審議している。人事課長 人権研修の中で取り入れている。今後は近隣自治体を参考にしていく。

問 同性カップルに対し、法的効力はないが、パートナーシップ証明書を発行するような取り組みが必要では。

答 総務部長 国や県が理解度を深めることが必要。

問 教育現場での取り組みは。

答 教育長 今年の4月に文科省から教職員向け指導資料が配付され、これを基に各学校で研修を実施している。

問 教師の理解度が大変重要と考える。子どもから相談があった場合の対応は。

答 指導課長 担任だけでなく

チーム体制で対応する。

問 学校教育の中で市独自のカリキュラムはあるか。

答 市独自では特にないが、県の研修で多く取り入れられている。文科省の資料で早速研修した小学校もある。

自主防災会組織と 連携強化を

佐藤 隆治 議員

問 市内の自主防災組織の現状は。

答 総務部長 現在、88地区で組織されている。

問 未整備の19地区にも結成を。

答 積極的に働き掛けたい。

問 防災士育成補助金が新設されたが、現状は。

答 安全安心対策課長 今年度16名が受講する。

問 公助と自主防災会が行う共助、今後、さらに連携して市の防災力を高めていきたい。

答 大規模災害時、建物の倒壊、道路の損傷などにより消防車両が現場に行くことが困難なこともある。そこで、スタンドパイプの消火資機材を自主防災会が使用し、初期消火活動することが有効と考える。

問 消防長 訓練を行ったり、取り扱いを自主防災会で管理できるのかなどによって判断。